

対象年度		平成31年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート											
事務事業名		消防団員関係事業						予算事業名		消防団員関係経費					
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	消防組織法 消防法					
				09	01	02	0501	経常経費							
総合計画体系		2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)						事業の区分		主要事業					
		2-4安全に暮らせる安心なまちづくり(防災・防犯・安全)													
		④消防・救急体制の強化						事業の区分		防災安全課					
事業期間		継続(平成27年度～平成33年度)						担当課係等		消防防災係					
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
消防団員の活動報酬、福利厚生等の待遇を支えることにより、消防団の体制が維持され、災害対応能力が向上する。								全国的に消防団員確保には苦慮していることから、福利厚生関係の充実を図っている。							
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】								【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】							
消防団員の福利厚生(報酬、補償、退職報償)を充実させ、消防団員の確保と消防団の活性化を図る。								結城市消防団員							
								【事業をとりまく環境の変化】							
								消防団に対する市民の期待は、年々高まってきている。							
【平成31年度 事業内容】				【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】							
消防団員の福利厚生 健康診断				消防団員の福利厚生 健康診断				消防団員の福利厚生 健康診断							
■事業費															
				H29年度		H30年度									
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0								
	県		支	出	金	0	0								
	地		方		債	0	0								
	そ		の		他	5,084	6,750								
	一		般	財	源	11,599	12,077								
歳入計(千円)				16,683		18,827									
歳 出 内 訳	節(番号+名称)				金額(千円)		金額(千円)								
	01	報酬			11,287		11,529								
	05	災害補償費			221		2,050								
	08	報償費			4,791		4,700								
	13	委託料			384		548								
歳出計(千円)(A)				16,683		18,827									
伸び率(%)						12.85									
備考	総合計画84ページ 予算書148ページ														

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	退職報償金受給者	人	目標	40.00	40.00	40.00
	退職消防団員に対する報奨金		実績	21.00	0.00	0.00
	健康診断受診者	人	目標	70.00	70.00	70.00
	年1回消防団員の健康診断を実施		実績	49.00	0.00	0.00
成果 指標	消防団員数	人	目標	300.00	300.00	300.00
	結城市消防団本部、第1分団から第10分団、女性分団の総数		実績	268.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	地域における消防団員の果たす役割は、非常に大きい。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	
	手段の妥当性	A 妥当である	
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	近年、永年勤続者の退職があるため、掛け金に対して退職報償金の受給額が多くなっているため、コスト面については、効率化が図られている。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	団員のサラリーマン化が進んでいることから、健康診断の受診者が減少傾向にあったため、昨年度は日曜日に開催したが効果が見られなかった。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	団員数確保に関しては、微増ではあるが成果が見られる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
団員確保に関して、自治会や後援会に協力をお願いしているところではあるが、苦慮しているという意見が多数見受けられる。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
消防団の活動自体を見直し、団員の負担軽減を図っていく。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））
☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 地域防災上、消防団活動を支える本事業は不可欠である。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））
☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。